

平成 20 年度人間総合科学研究科第 4 回 F D プログラム － T F 院生の教育実践力の発表会－

筑波大学大学院人間総合科学研究科

日 時：平成 21 年 2 月 4 日（水）午後 2 時～5 時 30 分

場 所：筑波大学 大学会館国際会議室

1. 趣旨・目的

本企画は、T A (Teaching Assistant)－T F (Teaching Fellow)－T P (Teaching Professor) の 3 つのレベルから構成される F D の組織化・制度化を指向し、未来型の大学人育成のための F D 活動を実践しようとする、平成 20 年度人間総合科学研究科 F D プログラムの一環をなすものです。すでに 3 回の F D プログラムを実施し、主に T F の採用条件の 1 つである事前・事後指導として、外部講師による講演のほかワークショップや学内教員のモデル授業などを行ってきました。2 学期から採用を始めた T F は 50 名を数えています。

第 4 回目に当たる今回は、主に T A や T F を対象とし、外部講師として我が国の言語学分野の第一人者で、国際基督教大学のデパートメント制やメジャー制など教学改革を先導してこられた日比谷潤子学務副学長をお招きし、本研究科がめざしている教員組織・教育組織改革に参考となる特別講演をお願いすることになりました。また、本学初の大学院生の T F 誕生を契機に、研究科の推薦する 2 名の T F 院生にそれぞれ「T F 公開授業」を実践してもらい、授業実践上の共通課題等を共有していきたいと思えます。

これまでと同様に、T F になった院生、T F をめざす院生のほか、各種研究員や助教・講師・准教授・教授等の幅広い参加を期待しております。

2. プログラム内容（仮題及び講師）

進行 清水一彦（人間総合科学研究科長）

2:10～3:00（質疑含）

特別講演 国際基督教大学における教学改革：新たな教員組織を中心に
日比谷潤子（国際基督教大学学務副学長）

3:05～3:45

人間総合科学研究科のめざす教員組織・教育組織の改革（概要）
久野節二（感性認知脳科学専攻長、組織等検討委員会委員長）
永田恭介（生命システム科学専攻長、研究科長補佐）

3:50～4:20

T F 公開授業その 1 授業テーマ「がんとウイルス」
沼田和志（社会環境医学専攻 2 年次、永田恭介教授指導）

4:20～4:50

T F 公開授業その 2 授業テーマ「血小板機能・検査法」
上妻行則（先端応用医学専攻 4 年次、二宮治彦教授指導）

4:55～5:30

T F 優秀学生表彰式、研究科 F D 大賞授賞式

3. TF採用との関係

研究科では、TAを経験した（もしくは経験している）後期課程（医学課程）大学院生を対象に、TF採用を予定しています。そのため今回のFDプログラムを、次のように位置づけます。

(1)すでに1回出席した者

今回の第4回FDプログラムが事後指導となります。事前・事後指導を受けた学生で次年度TFを希望する者は、3月6日（金）までに所定の様式にて「TF申請書」及び「TF用シラバス」を提出していただきます。

(2)今回初めての出席者

今回の第4回FDプログラムが事前指導になります。平成21年5月頃実施予定の次年度第1回FDプログラム以降が事後指導になり、その後に7月からのTF選考の手続きに入ります。

なお、すでに2回出席した者、TF者で次年度TFを希望する者は、上記(1)と同様に3月6日（金）までに手続きを行って下さい。また、大学院生以外のFDプログラム出席者については、別途、参加証授与等の方策を検討しています。

4. その他

(1)TF希望者の中で、当日、やむを得ず欠席されるTA院生（予定含む）は、理由書を当該専攻長に提出して下さい。

(2)各支援室には、当日の受付業務のほか、関係書類取りまとめ等のご協力をお願いします。

*問合せ：筑波大学大学院人間総合科学研究科 研究科運営係（2991、2992）